

まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	ふれあいガーデンプラブ	
まちづくり 活 動 名	花を咲かそうプロジェクト(ふれあいガーデン)	
活 動 地 域	主として名古屋市南区名南中学校区 (千鳥・白水・柴田小学校区)	
活 動 の 背 景	(団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。) 私たちのまちには年齢、家族構成、出身地(国内外)など多様な住民が暮らしている。なかには、孤立し生きづらさをかかえる住民もいる。また、この地域は住宅・商店・工場が混在し、うるおいが不足しがちである。このようなまちで、住民がおたがいにつながりあい、暮らしやすいまちをつくっていききたいという背景がある。	
目的・目標	(活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください。) ■目的 草花の世話を通じて多様な地域住民が交流を図り、地域住民がつながりあい、支いあえる暮らしやすいまちをつくる。 ■目標 ①個人宅・商店・施設にプランターを置き草花であふれるまちなみをつくる。②個人宅・施設などの庭の空き空間に花壇をつくる。③また、施設の空き空間などを活用して、車いすでも土いじりができるレイズドフラワーベッドを設置し、高齢者や障がい者も草花の世話を楽しめるようにする。 ■成果 草花の世話を通じて地域住民がつながりあえる。また、うるおいのあるまちなみを実現できる。	
活 動 内 容	(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。) ① プランターの花植え：前年度に引き続き、プレート「ふれあいガーデン」を手作りする。仲間が集って、花植え、花育ての心構えや手順などを学び、花の苗を植える作業を行う。 ② マップ作り：地域内のプランターの配置場所を示すマップを作成する。 ③ まち歩き散策：マップに基づいて花の様子を見て回り交流する。あわせて、花壇にできる場所や新たなプランターの設置場所を探す。 ④ 花壇づくり：個人宅や施設の庭などの外から見えるところに地域住民が協力して花壇をつくる。前年度後半着手したので、この活動を広げる。 ⑤ レイズドフラワーベッド：NPO 法人花と緑と健康のまちづくりフォーラムの協力を得て、レイズドフラワーベッドを手作りする。費用不足のため、前年度実施できなかったが、今年度は計画的に進める。 ⑥ おたより発行・紹介リーフレット作成：花植えやそのほかのお楽しみ会の活動予定などを知らせるために、定期的におたよりを発行する。また、紹介リーフレットを作成し、郵便局などに配架いただき、いつでも活動紹介・案内ができるようにする。	
活 動 予 定 間	令和6年 6月 ～ 令和7年 2月	
助成金交付 申 請 額	100,000円	※1回目（上限5万円） ※2回目、3回目（上限10万円）

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。) ・この地域は住宅や工場が混在して立地し、植物やうるおいが少ない。住宅や施設・事業所の前の、道路から見えるところにプランターを置いたり花壇を作ったりすることにより、緑を増やしてうるおいのあるまちなみにしたい。 ・また、子育て世代や高齢あるいは障がいのある地域住民が、家に引きこもり孤立しがちである。草花を植え、その世話をするという作業を一緒に行うことによって、地域住民がおたがいの顔が見え、語り合える場をつくり、人々のつながりがあるまちをつくる。 ・花を植え、育てるには花の苗や土、プランターなど費用が必要である。活動助成金をいただくことにより、個人の負担を少しでも少なくして、高齢者を含むだれでもが参加しやすい活動にしたい。	
審査基準② 実現性	・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。) ・地域住民への浸透：これまで二年度にわたり貴公社のまちづくり活動助成をいただきこの活動を本格的に立ち上げた。「ふれあいガーデン」のプレート(標識)のついたプランターとお世話をしている地域住民の口コミを通じてこの活動を知った地域住民の方々からあらたな参加希望が多数寄せられている。 ・他団体の協力：活動助成に基づくこれまでの活動の成果が実績として町内会(学区連絡協議会)や地域の郵便局(3局)局長の目にとまり、みずから仲間になって、仲間増やしに協力していただける関係を結ぶことができた。また、学区連絡協議会等の会合の場で、活動の紹介とお誘いをする機会をいただくなど、学区の活動としてとりあげられる機会も増えた。これにより、地域への浸透がさらに進むとともに、まちぐるみの活動になりつつある。 ・財政・人材確保：まちの活性化や防災の観点からも、学区連絡協議会や商店街振興組合とも協力関係を結ぶことができています。学区連絡協議会の会長・役員や商店街振興組合の組合員もすでに会員に加わっている。財政・人材確保をより計画的に進める必要性を強く感じるので、その関係をさらに深めて、組織的に、財政面および人材面でも支援をいただき、このまちづくり活動の継続性・発展性を確保していきたい。	
審査基準③ 発展性	・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。) ・プランターに加えて、空き地を活用した花壇づくり(高齢者宅などの荒れた庭の活用)や車いすでも作業できるようなレイズドフラワーベッドを実現し、より包摂的なまちづくりを目指す。高齢者宅などで庭の手入れが十分できず荒れているところがあるので、そこの住人と地域住民と一緒に花壇をつくる。また、身体的な困難を抱えているため、土いじりなどがむずかしい住民も花の世話が楽しめる環境を整備する。これにより、地域住民だれもが花の世話を楽しみ、だれもが排除されることなく参加できるまちづくり活動を目指す。 ・花の世話にとどまらず、この活動によってできた地域住民のつながりをお楽しみ会やバザーなど地域貢献の活動をとおしてより深めていきたい。これは、将来の災害発生時などの助け合いの環境づくりにもつながると考えている。このことにより、目標を共有する学区連絡協議会、商店街振興組合といった他団体の協力もより得やすくなり、持続的なまちづくり活動が可能になると考えている。	

- 3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
特定非営利活動法人花と緑と健康のまちづくりフォーラム	花の種類や選択や植え方、世話のしかたなどの指導をいただくとともに、苗や土・肥料の確保に協力いただく。 園芸福祉の考え方や実践について指導いただく。園芸福祉士の資格取得も視野に入れる。
公益財団法人名古屋市みどりの協会	花苗・肥料を提供していただく。 まちの緑化活動という視点から、支援の範囲の一層の拡大を要請していく。
千鳥・白水・柴田各学区連絡協議会、地域福祉推進協議会	学区の活動として協力をしていただく。 活動の継続のため、財政面および人材面での一層の協力を要請する。
柴田商店街振興組合	これまでの組合員の個人的参加にとどまらず組合組織として財政面の支援を要請する。
社会福祉法人名古屋キリスト教社会館	活動場所の提供や事務局機能を分担していただく。

いずれの団体も前々年度よりすでに協力いただいている。

今後、活動の安定的な継続と一層の発展のため、より密接な協力関係を築いていきたい。とくに学区連絡協議会および商店街振興組合については、活動継続のために必須となる財政面、人材面で組織的な支援を依頼している。

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2024	4	世話人・サポーター会 おたより発行 紹介リーフレット作成 プレート作製	世話人・サポーターの役割分担を決める。 春の植え替えの準備を始める。 紹介リーフレット完成 新しいプランター用のプレート作製着手
	5	プレート作製 ミニ講座 土の養生 苗の植え付け	プレートを作製する(継続)。 花の植え方・育て方を学習するとともに会員間で交流する。 花の植え替えは二回/年とする。
	6	世話人・サポーター会 マップ更新 花壇づくり	春の全体活動の振り返りを行う。 新しいプランターの配置をマップ上に追加 施設の空き地を借りて花壇づくりを行う。
	7	レイズドフラワーベッドの学習	設置事例を見学するとともに、設計図を描き 試作・試用する。
	8	世話人・サポーター会	秋の全体活動の計画を策定する。
	9	まちなか散策	マップを見ながらまちなかのふれあいガーデンを見て回りながら交流する。
	10	世話人・サポーター会 おたより発行 レイズドフラワーベッド	秋の植え替えの計画を策定する。 秋の植え替えのお知らせ レイズドフラワーベッドの実用版を作製し、 地域内の福祉施設に設置する。
	11	プレート作製 ミニ講座 土の養生 苗の植え付け バザー出店・交流	春に準じるかたちで秋の苗植え作業を実施する。 バザー出店、お楽しみ会を開催し、会員が交流する。
	12	マップ更新 まちなか散策 世話人・サポーター会	春・秋の活動のまとめを行う
2025	1	活動報告	協力いただいた関係機関および会員向けの報告を行う。
	2	お楽しみ会	室内でできる活動をとおして親睦を深める。
	3		

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

費 目 手引きの費目を参照		活動項目	内訳・算出根拠	金 額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				100,000 円
活動 経費 の内 訳	消耗品費	花の苗植え	花の苗 1,000 円/件×100 件×2 土・肥料 800 円/件× 40 件 プランター500 円/件×40 件 プレート 400 円/件×40 件 (合板、塗料など)	268,000 円
		花壇	花の苗 5,000 円 土・肥料 5,000 円	10,000 円
		レイズドフラワー ベッド	試作材料費（木材・土）	10,000 円
	印刷製本費	おたより発行 紹介リーフレット 作成	10 円/件×150 件×2 10 円/件×100 件	4,000 円
	通信運搬費	おたより発行	100 円/件×20 件	2,000 円
支出合計				294,000 円

※1 ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。